



第 39 回会員便り

日本語ボランティアの会に参加して

平塚しのぶ

私がこの日本語ボランティアの会を知ったのは、今は活動されていませんが、以前活動されていたある会員さんからでした。

私は学生の頃から英語が好きで、就職した後もどうしても留学したくて、なんとか 1 年間分の学費を工面して、語学留学という形で山梨県の姉妹都市であるアメリカアイオワ州に留学しました。もうかれこれ 40 年近く前になります。結構自信があったのですが、いざ現地に行ってみると、自分の言いたいことは伝わるのですが、返ってきた答えを理解することが結構大変でした。1 年間では、やっと耳が慣れてきて相手の言うことが聞き取れ、英語で夢も見erようになり、これからというところで帰ってこなければならなかったのも、いまだに心残りです。でも、帰国後も映画をたくさん見たり、ドラマを字幕なしで聞いたり、自分なりに勉強を続けてきました。それでも英語を話す機会は多くないので、まだまだ流暢とはいかず、言葉につまることしばしばです。

現在は笛吹市に在住しているのですが、ある時、普段はちゃんと見たことなかった公報をたまたま見たところ、笛吹市にはドイツに姉妹都市があり、笛吹市民に交流のため一緒にドイツに行く人を募集していました。抽選で当たり、笛吹市の補助があったので多少安く、ドイツのバート・メルгентハイム市といくつかの街をめぐる旅に参加することができました。その時に一緒にドイツに行った一行の中に、日本語ボランティアの会の会員さんがいました。帰国してから、参加者でこれから姉妹都市との国際交流に私達も何かできないだろうか、と、バート・メルгентハイム市交流会を立ち上げました。その活動で何度もお会いしているうちに、日本語ボランティアの会のことを伺いました。常々日本に来ているいろいろな国の方と交流できたら、と思っていたので、会に参加したい旨会員さんに伝えたところ、ご紹介いただき、私も一員に加わらせていただきました。

この会員さんも、ホームステイの受け入れを行ったりして国際交流に興味をお持ちでしたので、色々な活動をご一緒させていただきました。

私は普通の会社員なので、特に日本語を教えるための勉強をしたわけではありません。英語はなんとか話せるので、まったく日本語が話せないけど英語は少しわかる方にも力になれるかもしれないと思ってトライしてみました。最初は何をどう教えたらいいいのかとまどいながらも、自分なりに試行錯誤しながら、今まで5名ぐらいの方と関わらせていただきました。インド、ベトナム、南アフリカの申込者さんで、レベルも初心者、中級者と様々でしたが、普段何も考えずに話しているので、説明することの難しさを思い知らされる毎日でした。また、日本語って本当に難しいなあ、と実感しました。学習者さんはひらがなとカタカナの使い分け、さらに漢字があって、音読み訓読みもあるので、本当に大変です。今は、なかなか日程や条件が合わず、担当している方はいませんが、また、日程を調整しながらできる方がいればトライしてみようと思っています。

現在は、笛吹市で行っている、笛吹市在住の外国人の方の日本語学習のサポートをする、日本語パートナーにも登録して、日本語学習のお手伝いをしています。意外といろんな国の方が笛吹市にも住んでいることを知りました。普段の生活の中ではなかなか見えませんが、せっかく山梨に来てくれた方に、もっともっと山梨を好きになってほしいと思っています。

私は他の言語にも興味があり、韓国語や中国語も勉強しています。言葉が通じないということは本当にもどかしく、ストレスフルです。でも、コミュニケーションを取ることは、生活していく上で本当に大切です。少しでも日本語学習者のお手伝いできればいいなあと思っています。これからもできる範囲でこのような活動に参加していきたいと思っています。そんなきっかけを作ってくださった会員さん、今は体調がすぐれないため、活動はされていませんが、回復をお祈りしています。

